

2017年ジャイアンツカップ京滋代表決定戦 組 合 せ

大会日程：7月2日(日)・8日(土)・9日(日)・15日(土) 予備日16日(日)

1	S滋賀 草津	球/二=Y 7月2日	3		
2	B滋賀 滋賀野洲	③	2	6	
3	B京都 京都西京極	球/二=S 多賀B&G①	1	1	6
4	Y京滋 京都フレンド	②	2		
5	Y京滋 京・相楽	球/二=B 7月2日	2		
6	S京都 京都	①	7	6	
7	B滋賀 湖南	球=Y/一=S 多賀B&G②	3	3	
8	S京都 京都木津川	①	0		
9	S滋賀 湖東	球/二=Y 7月2日	2		
10	B京都 京田辺	②	10	1	
11	B滋賀 湖北	球/二=Y おくのの①	5	3	7
12	S滋賀 大津北	①	1		
13	B京都 京都東山	球/二=S 7月2日	11	1	
14	Y京滋 オール山城	②	1	1	
15	B京都 京都嵯峨野	球=Y/一=Y おくのの②	3	7	
16	S京都 京都八幡	③	2		

【球 場】

7/2 1~6=太陽ヶ丘球場
7/2 7~10=おくのの球場
7/2 11~16=浅井B&G
7/8 = 多賀B&G
7/8 = おくのの球場
7/9 = 伏見桃山球場
7/15 = 伏見桃山球場
7/16 = 伏見桃山球場(予備)

赤字は審判担当リーグ

球 = 球審 / 一 = 一塁審

二 = 二塁審 / 三 = 三塁審

球/二=Y

優勝

一=B/三=S

B=ボーイズ・S=シニア

Y=ヤング・P=ポニー

【試合開始予定】

①=9:00 2日目=10:00

②=11:20 2日目=12:20

③=13:40

大会規定付則

1. 試合は7回戦で行い、4回終了をもって正式試合とする。試合成立後に、降雨や視界不良などにより試合続行が不可能となった場合、同点の場合は最終回時点で出場していたメンバー全員の抽選とする。
2. 試合成立前に、試合続行が不可能になった場合は大会本部が指定した日時、場所で中断した状況で再開する。
3. 4回終了以降10点差の場合、コールドゲームとする。(ただし、決勝戦にはコールドゲームは適用しない。)
4. 7回終了後、同点の場合は延長戦に入るが延長10回あるいは試合開始から2時間を超えては(どちらか早い条件を採用)新しいイニングに入らず、タイブレーク方式を実施する。(タイブレーク実施細則参照)
決勝戦では、上記ルールが採用され、尚且つ試合開始から2時間20分を超えては新しいイニングに入らない。
5. 特別代走を認める、死球などによる、一時的に休めば試合に出場できると審判員が判断した時に限り適用される。
この場合、その打者の最も近い打撃の完了した選手(投手を除く)を特別代走者とする。
6. 監督・コーチが一試合(7イニング)に投手のもとへいける回数を2回までとする。(投手を交代させた場合は回数として数えない)
監督・コーチが2度投手のもとへ行ったら、3度目に行けば、その時の投手は自動的に交代しなければいけない。この場合、他の守備につくことはできるが、その試合で投手に戻ることはできない。また、監督・コーチが投手のもとへ行ったら場合を除き守備側のタイムは1試合(7イニング)で2回迄とする。(捕手は除く)攻撃側のタイムは1試合(7イニング)で2回までとする。
延長回に入って場合は、それ以前の回に関係なく監督・コーチがいける回数は3イニングにつき1回とする。
守備側のタイムは3イニングにつき1回とする。攻撃側のタイムは3イニングにつき1回とする。
7. ベンチは組み合わせ上段のチームが1塁側とする。
8. 投球回数確認シートを適用する。選手確認は選手に背番号・氏名を告げとらう。用具点検は審判員で行う。
9. ボールボーイは3名(ベンチ横2名外野1名)。尚、選手の少ないチームは父兄でも可能(ヘルメット着用)
グラウンドインから試合終了まで、監督・コーチ・スコアラー・登録選手以外はベンチに入る事はできない。
試合前のシートノックは5分とする。尚、守備につかずシートノックの補助をする登録選手は必ずヘルメットを着用する事。
コーチボックスには、監督、コーチ、選手のいずれかが入る。必ずヘルメットを着用する事。
10. ベンチ指導者は監督、コーチ、スコアラー。(監督、コーチ、選手は同一ユニフォームを着用)
11. その他特に定めのない限り、大会特別規定及び公認野球規則を適用する。